



水道などの社会インフラをはじめ、石油工業、ガス、造船、半導体製造、宇宙開発など先端技術が用いられる様々な分野で流体（液体・気体）を「制御」しながら安全・安心を維持し、省エネや環境配慮にも貢献するバルブ。コロナ禍にはウイルス対策として非接触水栓が注目を集めた。昨年6月、新たに日本バルブ工業会会長に就任した堀田康之氏に、社会の変化を支えるバルブ業界の展望について聞いた。

この社会は「制御」です。さらさらに進化する。



日本バルブ工業会 会長
堀田 康之氏

いまこそ日本のバルブ技術で社会の進化を支える時

このコロナ禍で、センサーに手をかざすだけで吐水や止水ができる非接触の自動水栓が注目されました。病院や福祉施設、オフィスのビルなど不特定多数の人が利用する建物では交換需要が増えています。私たちの技術や産業が社会課題に貢献していることを生活者の皆様にも印象付ける大きなきっかけになったと思います。

バルブの機能は様々な流れを「制御」することです。社会インフラだけでなく石油工業、ガス、造船、半導体製造、宇宙開発、食品工業など先端技術が求められる様々な場面で、液体や気体などを漏らさず、緊急時には確実に流れを止めることで安全・安心を守り、環境負荷の軽減にも貢献しています。災害の多い日本で作られる水道用バルブは揺れにも強く、安全・安心に関する技術力の高さは世界トップレベルで、安全な水の供給が必要とされる発展途上国のインフラ整備にも大きく貢献していくはずで

す。コロナ禍で社会が大きく変化

せたいと考えています。また、感染症の拡大のように社会全体に危機が及ぶような状況で、事業を継続するためのリスクマネジメントの見直しも業界にとっては重要な課題です。若手経営者たちの交流を目的とした「清流会」や女性の活躍を推進する「バルブ女史PJ（プロジェクト）」などが企業間の連携を促すことで、業界全体が進化していく体制づくりを進めています。

していく中で、バルブ産業も進化する必要があります。バルブ工業会としては主に次の目標達成や課題解決により会員企業の事業の活性化を図ります。まず、DX（デジタルトランスフォーメーション）などを取り入れた次世代につながる新しい働き方の推進です。単なるデジタル化ではなく、そうした知識を有する若い人々がもつ活躍できる風土を業界内に醸成さ

各社の体制整備により社会をリードする技術開発が創発されやすい環境となり、若い人々が様々な夢を描ける業界になることを目指します。特に需要拡大が予測される再生エネルギー分野では、水素の輸送などにもバルブの技術は大いに活躍できるはずで

す。社会が大きく変化するいまこそ当工業会180社が様々な連携を図り、「制御」の視点で新たな未来を支えていきたいと考えています。

タッチレス水栓 ナビッシュ



触らないからキレイ・安心。

タッチレス水栓ナビッシュはセンサーに手をかざすだけで水の出し止めができます。各種バリエーションを取りそろえており、電気工事不要、リフォームにも最適な乾電池式タイプもご用意しました。浄水機能付きは、浄水と原水のセンサーが上下に分かれていて、使い分けも簡単です。LIXILはタッチレス水栓ナビッシュで快適な暮らしをお届けします！

株式会社LIXIL TEL:0120-376-836
URL:https://www.lixil.co.jp/lineup/faucet/navish/

LIXIL

OKM
株式会社オーケーエム

過去から未来へ
JMA
一般社団法人日本バルブ工業会

SANEI

株式会社 大和ビルブ

NDV
日本ダイヤバルブ株式会社

フジキンの
オープン井(ペンション)
& イン井(ペンション)
水素+
水素社会
ながれ
ながれ(流体制御)
中万博
大阪・関西万博
(下町……の)
エール FUJIKIN GAS
www.fujikin.co.jp